

広報さつませんだい

まちの総合情報紙

9

2014 NO.238

薩摩川内

【主な内容】

P2~P15 行政トピックス

- 9月9日は「救急の日」
- 敬老の日 いつまでもお元気で
- 川内大綱引
- 市民大学後期講座のご案内

P16 まちの話題

P17~P20 読み物のページ

- 図書館
- 健康情報
- 新エネルギー

P21~P27 情報掲示板

P30 読者のひろば

次世代エネルギーを活用したまちづくり

今回は、次世代エネルギービジョンの具体的な取り組みとして、市比野地区における集落コミュニティレベルでの活動「自然エネルギーの地産地消モデルプロジェクト」について、皆さんにご紹介します。

市比野地区における自然エネルギーの地産地消プロジェクト

平成25年度から、本市は市比野温泉地域活性化協議会と川内商工高校の連携を調整し、市比野地区での自然エネルギー活用に向けた議論を重ねて、プロジェクトを実施しています。平成26年度は、同協議会が代表となつて、「公益財団法人日立環境財団」より助成金をいただき、活動をしています。

のて、を？
エネルギーの消費を減らすのには、地産地消が効果的だ。



熱男さん

エコ会議

6月16日(月)に、樋脇保健センターで、同協議会と同校エネルギー工作研究部(以下「商工研究部」)がエコ会議を行いました。湯之滝公園でマイクロ水力発電によるLEDイルミネーション点灯式の開催など、今年度の計画を協議し、本格的にプロジェクトを始動しました。



▲商工研究部の生徒も参加した会議の様子

らせん水車の特別講義

湯之滝公園で行う同発電にはらせん水車を用いることから、その研究をしている名古屋大学の岡村鉄兵氏に、商工研究部の生徒を対象に発電の仕組みなどについて特別講義をしていただきました。その後、同発電機の組み立てを行いました。



▲特別講義と組み立ての様子

マイクロ水力発電によるLEDイルミネーション点灯式

市比野地区におけるプロジェクト活動第1弾として、8月18日(月)に、地域の夏祭りにあわせて、LEDイルミネーション点灯式が開催されました。なお、同発電機は商工研究部の生徒により設置されました。



▲イルミネーションと商工研究部員



▲点灯式の様子



▲同発電機設置の様子

今後の活動

今後は、市比野小学校の児童を対象に、自然エネルギー学習イベント(ソーラークッカーの製作、調理を通じた太陽熱体験)や地域にある自然エネルギー探検イベント(自然エネルギー発掘調査、小学生の目線からの地域自然エネルギー活用アイデアマップの作成)を計画しています。

私たちの身近なところでも、自然エネルギーで何かできるかもしれないね



水枝さん

〈今月の用語集〉

- ※1 マイクロ水力発電
小規模な水力発電のことで、例えば、用水路・小河川・道路脇の側溝など、さまざまな水流を利用して行う発電です。
- ※2 ソーラークッカー
太陽光を集光させ、太陽熱により調理を行う組み立て式の調理器です。

◆8月号で掲載した市の「スマートハウス実証事業」についての訂正

主な導入設備の②家庭用燃料電池は「700KW」ではなく「700W」です。おわびして、訂正します。